

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
鹿児島市	伊敷町田入道（田入道・七窪）	令和4年2月28日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	10.2ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	6.4ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	4.8ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	1.2ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	1.6ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.0ha
(備考)	

2 対象地区の課題

当地区では所有者または耕作者が75歳以上で、かつ後継者が未定または不明の農地が2.9haあるのに対し、地区内の中心経営体が表示意向は「現状維持」であり引き受けが見込めない。そのため、地区外からも含めて新たな農地の受け手の確保が必要である。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

地区内の畑地では、耕作者による話し合いの継続と、老朽化した園芸ハウスの機能維持を図り、現在の耕作者の規模縮小が不耕作地の増加につながらないように、その他の耕作者や地区外から入作を希望する者がまとまった農地を耕作できるよう、利用調整に努める。

地区内の水田では、耕作条件が良い箇所について畑地への転換を図り、園芸ハウスの新設を進めるなどによって、新たな中心経営体を確保・育成していく。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針（任意記載事項）

営農しやすい環境づくりのため、農道拡幅などの整備を進める。

補助事業を活用して、農業用施設の長寿命化を図り、次の担い手へ継承する。

園芸ハウスの新設などにより、規模拡大に取り組む。

後継者のいる経営体は、営農活動の空白が発生しないよう、栽培技術等の継承を早めに行う。

中心経営体

属性	経営体 (氏名)	経営者・代 表者の年齢	構成員 (従業員)	後継者の有 無	現状		今後の農地の引受けの意向		
					経営内容 (作目)	経営面積 (h a)	経営内容 (作目)	経営面積 (h a)	農業を営む範囲
認農	A	76 歳	2 人	有	施設野菜	0.17 ha	施設野菜	0.17 ha	田入道、七窪
認農	B	57 歳	3 人	一	施設野菜	0.50 ha	施設野菜	0.50 ha	田入道、七窪
計						0.67 ha		0.67 ha	

※後継者の有無については65歳以上の中心経営体のみ記載